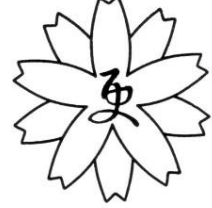


# 掛川地区 更女会だより

第95号 更女だより

掛川支部担当

平成30年9月発行



## 『新たな気持ちで』

会長 渥美 敏子

5月16日、掛川地区更生保護女性会総会が開催されました。お忙しい中、会員多数の御参加をいただきまして、今年度の事業と予算が承認されました。1年で1番緊張する瞬間でもあります。

そして、更生保護女性会とは、『犯罪や非行のない明るい社会の実現と、心ならずも過ちを犯した人の立ち直りを支援するボランティア団体』です。今年は12名の新加入者があり、県連盟堀会長の「出来る時に、出来る事を」の言葉を胸にきざみ、153名、新たな気持ちでスタートを切りました。

前半は事業も多く、冠講座・裁判所傍聴・社会を明るくする運動・少年の家食事づくり・新会員研修会・支部活動等々、皆様の御協力により順調に取り組む事ができました。誠にありがとうございます。

私にとりまして心に残ることが！ 実は第94号更女だよりの一編集後記に掲載されていました『活動に参加することは難しくなりましたが、更女だよりを楽しみにしています』という一文が胸に響きました。

温かく慈愛に満ちたお心で私たち更女会を応援し、見守って下さる先輩の想い……お気持ちが何より嬉しくて、いつも自身の励みになっております。



今後私達は、更生保護女性会の一員としての誇りを持って、後半も、各種事業により充実した活動が出来ますよう、皆様のご理解ご協力を心よりお願い申し上げます。

### 目次

- P1 新たな気持ちで  
(会長 渥美 敏子)
- P2 ねむの木学園視察研修に参加して  
(掛川支部 守屋 美知子)
- P2 食事づくり  
(大東支部 宇田 春子)
- P3 掛川東高校生と学ぶ「冠講座」に参加して  
(大須賀支部 鈴木 玲子)
- P3 平成30年度の冠講座に参加して  
(掛川支部 大谷 よし)
- P4 視察研修  
～裁判傍聴に行ってきました～
- P4 「千浜子育て支援センター  
託児ボランティア」に参加して  
(大東支部 加藤 睦代)
- P5 第68回「社会を明るくする運動  
キャンペーン」に参加して  
(掛川支部 小澤 悦子)
- P5 二人の少年  
(大須賀支部 寺田 正子)
- P6 16年目の新会員研修会  
(掛川支部 和田 とし子)

掛川市福祉課

掛川市長谷1-1-1

TEL:21-1140 FAX:21-1163

掛川地区更生保護女性会

<http://kakegawa-koujyo.com/>

会長 渥美 敏子

TEL:74-2220

会長さんのご挨拶の中で近くて遠い学園とありましたが私も同じ気持ちでした。広大な敷地内に学校がありメルヘンな気持ちさえ感じました。いろんな事情で親と離れての生活、その中で毎日一生懸命生きている。

こども美術館等、とても温かい絵を沢山観させていただき不思議な力で引き込まれ感動しました。

幸せって何だろう…

カ一杯生きられることかな

こんなことを思い感じました。



## 『食事づくり』 3/12

私は、施設が新しくなってから少年の家に訪問するのは始めてで食事作りに参加させていただきました。おどろいた事に施設のまわりも新しい住宅が建て並びすっかり様変わりの風景でした。明るい雰囲気、案内していただいた調理室に入り又々びっくり。部屋の広さは以前と同じようですが中はすっきり整備されておりここで今晚の献立を作るのだと意気込み取りかかりました。私達の作った料理をどんな気持ちで味わってくれるのだろうと、出来上がった一皿一皿に思いを込め盛り付けし出来上がりました。



私達が家に着く頃少年達は食事を始めている頃だろうなと思い、「今晚の夕食のお味はどうですか？」と側で聞いてみたい気持ちにもなりました。日中は施設の方々、夜は保護司さん方の見守りで、不自由なく暮らしているようですが、数多くの方がこの食事作りに携わっていることで、人の暖かさやぬくもりを感じてくださる事と、又一日も早く定職に就くことができますよう願わずにはられません。いい経験をし私自身がとても満足した気持ちでした。ありがとうございました。



## 『掛川東高校生と学ぶ「冠講座」に参加して』 3/16

大須賀支部 鈴木 玲子

小雨の降る朝9時30分掛川市のマイクロバスに乗り、掛川東高校へと出発しました。

大勢の生徒の後ろに私達更女は、準備していただいた椅子に座り、オネエアーティスト《緑の妖精トシ子ちゃん》を待ちました。やがて緑の洋服というかドレスを着た、トシ子ちゃん明るく登場！！浜松出身と聞き、少し身近な人と思えました。子供の頃のいじめにもふれ、親の期待のこと、自分らしく生きたいと、東京へ出てイラストレーター、造花アーティスト、衣装デザイン、水引デザイナー等随分と苦労なさり、今があるのだと思いました。



終わりに質問の時間となりました。生徒達が5人余り手を上げてオネエとオカマの違いは？等、質問し、それぞれにとても丁寧に誠実に答えてくださり、爽やかさが私に残りました。帰りの際には、にこやかに握手もしていただきました。

これからのご活躍をお祈りしています。

## 『平成30年度の冠講座に参加して』 4/27

掛川支部 大谷 よし

30年度の冠講座はNPO法人浜松子どもメディアリテラシー研究所代表長澤弘子氏で、演題は「携帯・スマホ・インターネットモラル講座」であった。

会場は県立横須賀高校の体育館で行われ、1年生160名と職員数名、更女からは23名が出席した。学校の玄関には全国体育大会優勝旗やトロフィーが多数飾られた明るく若い校風が溢れ全国大会優勝旗も光って見えた。

講師の声は良く通り美しい声で心地よかったが、会場の後ろの席までは聞き取りにくいところもあったが、趣旨はおおむね携帯・スマホ・インターネットモラルは人生訓の説明の様に思えた。世界中すべては繋がっていて自分に関係する物ばかりである。と諸法無我の真理を簡単に説いた。

長澤弘子氏から世界中がインターネットで皆つながっている事、ほとんどの人が関係し合っている

る事をお聞きした時は私は恐ろしくなった。

長澤弘子氏は、だから、自分の考え方をしっかりと持つようにと自分の行動には責任を持つ事、自分の行動はすべて一生涯、ずっと自分について消えるものではないから、自分の考え方をしっかり持って生活して欲しいと力説された。いつか時間も少し長引いた位の熱演であった。

冠講座のおかげで有意義な1日が終わりました。帰りの際、玄関先の元町長、鈴木純氏の石碑がチョット傾き寂しそうに私には見えたけれど学生達は成長し立派な社会人になる事を確信して帰途についた。冠講座を受け入れて下さった横須賀高校に心よりお礼申し上げます。

## 『視察研修』

### ～裁判傍聴に行ってきました～

6月25日、静岡地方裁判所浜松支部へ行きました。裁判所では実際に裁判を傍聴させていただき、貴重な体験をしました。

視察に参加した会員の声を紹介させていただきます。

事件内容は【過失運転致傷】です。

今回の裁判は難しかった。裁判員は、若くて、的確な対応にさすがのキャリアを感じた。

裁判を傍聴して、通訳の方の同時通訳も、すばらしいと感じた。通訳の声をきき、即座に答える被告人。被告人にしっかり伝わる通訳だったことだろう。

「これから弁護士が無罪を立証していく」との事だったが、この事犯がどんなふう展開していくのだろうか？と思いながらバスにのりました。更女会員だからこそ裁判の傍聴ができ、貴重な経験をうることができました。



裁判所での流れがわかり、勉強になりました。交通事故の信号機の色が異なるとの主張での結果、どちらかの主張が通るのだろうか。裁判の決審が先のみえない中、いつになるのだろうか、費用等の面も考えたり、みえないものだと思った。

行事に積極的に参加することの大事さを感じた研修となった。

## 『「千浜子育て支援センター託児ボランティア」に参加して』 6/26

大東支部 加藤 睦代

園児の親御さん達が勉強会をしている間の1時間程、私は1歳未満の男児を担当しました。幸い泣く事なくいろんな遊具に好奇心旺盛で部屋中動き回っていました。柔らかなほっぺ、ふっくら小さな手に思わず笑顔と共に優しい気持ちになりました。最近「託児付〇〇」というワードをいろんな場面で目にするようになりました。子育て世代の一助となるこのボランティアに、微力ながらまた参加、協力させていただきたいと思います。



## 『第 68 回「社会を明るくする運動キャンペーン」に参加して』

掛川支部 小澤 悦子

7月2日、広報車に乗り、掛川東回りの街宣活動に参加させていただきました。「ふれあいと対話が築く明るい社会！」とマイクを手に、新緑の茶畑や田畑の中を走り抜けました。市役所での出発式の際、市長さんや議長さんのごあいさつの中で、「掛川市が、県内住み良い街ランキングで、2位に繰り上がった。」というお話がありました。素晴らしい事です。犯罪や非行のない明るい掛川市に一步近づいたのではないのでしょうか。同日夕方には、掛川駅前での街頭キャンペーンに参加しました。うちわの入った啓発グッズを手渡し、青少年の非行・被害防止と社明運動のPRができました。



## 『二人の少年』 7/5

大須賀支部 寺田 正子

一年ぶりに電車に乗り、皆さんと静岡の少年の家の食事作りに参加しました。早目の昼食を取りながら、献立の説明をして頂き、買物の打合わせも行う。私以外の方はそれぞれ自宅にある野菜を持ち寄って下さり申し訳なさしきりで少年の家へ。

調理室使用の説明後、買物に行ったり、初めて参加した林さんと私は所長さんが館内を案内して下さいました。気持ちよく生活できる場が整っている様に思いました。

調理を始める時、所長さんが館内放送でお手伝いをして下さる方を呼びかけて下さった所、二人の少年が“手伝います”と加わって下さった事は、とても嬉しく思いました。頼んだ事は素直に返事

良くこなしてくれ、すぐ和気合々そのものでした。少しづつの会話の中で“何か料理できる？”の問いに“僕、味噌汁上手だよ”にびっくり。私も大豆を作ってグループでお味噌も作るよと話す“絶対おいしいよな。今度作ってほしいな”と。何か胸にこみあげる様な思いがありました。

今日の献立の説明も二人の少年にお願いして少年の家を後にして帰りの途に着きました。

帰り道、あの素直な、ごく普通の少年達がなぜ法にふれたのか、どうしても考えられなかったのは私一人ではなかったと思います。そして子供達ではなく、社会や私達の責任ではないだろうかとも。本当に良い形で少年の家からの旅立ちが出来る事を祈らずにはいられない一日の出来事でした。



# 『16年目の新会員研修会』

掛川支部 和田 とし子

平成 14 年から創意工夫されてきた新会員研修会が、今年度 113 人対象に、天竜二俣協働センターで行われました。天浜線で掛川から 10 名参加しました。“二俣本町”下車してから、どこに歩いていけばよいかと歩いていたら、案内板を持った会員が声を掛けて下さり、一安心。更に炎天下に角々に立っている方、会場入口付近でも、来場者への声掛けの心配りに“心でする活動”からだ、後で気づきました。今回は、熱中症予防に案内板を立てかけ置くようにしたらと思う程、大変御苦労様でした。

## 1. 「更生保護女性会とは」

県更女連盟 堀会長

相手を思う優しさでゆったりと、今日ここに参加するまでの御礼を冒頭語られたのは思いの外でした。「罪を犯してしまった方を助けるのは、少しイヤだわ。」と思うけど、そういう人達を放っておくと、立ち直れない方もいるので再犯防止の組織ボランティア。更生する人（対象者）を助けるのが更女。保護司の下部組織の印象があるが、55 年経過の更女＝石垣の小積石（支える役目）＝目立たないけど、なくてはならない。誰かを幸せにさせて頂いた時、自分も幸せに感じられ、自分が世の中の役に立っているという実感が持てる活動。中が広いけど心はひとつ、心でする活動。大切なものは何か？気をつけて守る事ー心のバランスを保つことが地域の人々を守る事にもなると心の持ち方と活動内容の紹介でした。

## 2. 「更生保護について」

静岡保護観察所 宮山芳久企画調整課長

保護観察ー犯罪者を支援しているわけではない。更生をさせる（促す）為に、働いている。再犯者が増加しているのではなく、再犯者率（犯罪者の中に占める再犯者の比率）が、増加している。

少年人口減少だからでなく、非行少年になる人口も減少している。理解している人が理解してくれるー地域の方々を知っている更生保護女性会の声かけ・各地区活動が、大切です。

3. ビデオ視聴は講話 1・2 のまとめでした。お昼は、地元産野菜・全部手作り弁当を頂き、安心安全の心がいっぱいでした。カラも回収でした。

4. グループ討議は 8 グループに分散され、私のグループは、自発的に自由な意見が出され、各々が輝いていて楽しい時間となりました。

5. 講評は、宮山課長さんが、「話しやすかったこの雰囲気を守らないで！」と、評されました。

メモの羅列で、失礼しました。新会員に求められている姿（自主性・社会性・先駆性・想像性）は、幅が広いけど、真心を添えて、平和な明るい社会を。できる時にできる事を私も支える役目を担えるように、どんなステキな方に出会えるか、出掛けていくのも楽しみです。今年度当番地区のスタッフの皆様、温かい御心遣いをありがとうございました。私も、誰かにこの温かさを運べるような会員になれるよう励んで参ります。皆様、宜しくお願いします。

## - 編集後記 -

酷暑もやっと一段落。

裁判所傍聴では 2 2 名の会員から感想をいただきましたが、紙面の都合上掲載できませんでした。

ご協力ありがとうございました。

(掛川支部)